



No. 32, 2009.7.15

中国電子科技大学と学術交流協定を締結しました

平成 21 年 6 月 1 日（月）に中国電子科技大学において、香川大学と中国電子科技大学との大学間学術交流協定及び学生交流に関する実施細則、本学工学部及び工学研究科との間で実施細則の調印式が執り行われました。調印式には、香川大学からは一井眞比古学長、伊藤寛工学部長、郭書祥教授他が、中国電子科技大学からは Zou Shoubin 学長他が出席しました。

中国電子科技大学とは、5 年前に、工学部との協定を締結し交流を続けてきましたが、今回香川大学全学の協定に更新され、ますます幅広い交流が期待されます。（広報室）



左から Prof. Limei XU, Prof. Dagui HUANG, Prof. Wang Houjun, Zou Shoubin 学長, 一井学長、伊藤工学部長、郭教授



Wang Hou jun 副学部長（左）と握手を交わす伊藤工学部長（右）

本年度下期に「工学部総合研究棟」新営工事着工予定！！

工学部林町キャンパス内に、宿願の新しい総合研究棟が建設される運びとなりました。2号館の西側に9階建て建物（SR-9 約 4,500 m²）の工事が、今年度下期に着工され、平成22年度末に竣工する予定です。情勢の厳しい中、多方面の方々のご尽力により建設できることになった貴重な新棟を、教育・研究や地域貢献などに最大限活用し、工学部の更なる発展に結び付けることが期待されます。

（副学部長 知能機械システム工学科 大平文和 教授）

新入生合宿研修

工学部では、平成 21 年 4 月 13 日から 19 日にかけて、学科別 1 泊 2 日の新入生合宿研修を実施しました。この研修は、共同生活を通じて新入生と教職員の交流を深め、連帯感の育成を図ることを目的として、毎年行っている行事です。

今年度は、信頼性情報システム工学科と材料創造工学科が屋島少年自然の家、安全システム建設工学科が五色台少年自然センター、知能機械システム工学科が休暇村讃岐五色台にて実施しました。

(広報室)



安全システム建設工学科：ワークショップの様子



信頼性情報システム工学科：LEGO プログラミング体験の様子

材料創造工学科 教員就任記念講演

材料創造工学科では、本年度 4 月に宮川隼人教員と上路林太郎教員が准教授に昇任し、さらに、水口隆教員が助教として新たに着任しました。6 月 22 日に、これらの教員の研究紹介を兼ねた新任・昇任教員講演会が開催されました。多くの学生に加えて他学科の教員が聴講する中で、「磁性材料とフォト・スピントロニクス」(宮川)、「私と金属と相変態と力学特性の関係」(上路)、「鉄鋼材料の高温巨大ひずみ加工に伴う組織変化」(水口)に関して、新任・昇任教員の最新の研究成果に関する講演がありました。講演会の後に、懇親会が開催され、学生と教員間の親睦を深めました。

(広報室)



講演会の様子 (宮川勇人 准教授)



上路林太郎 准教授

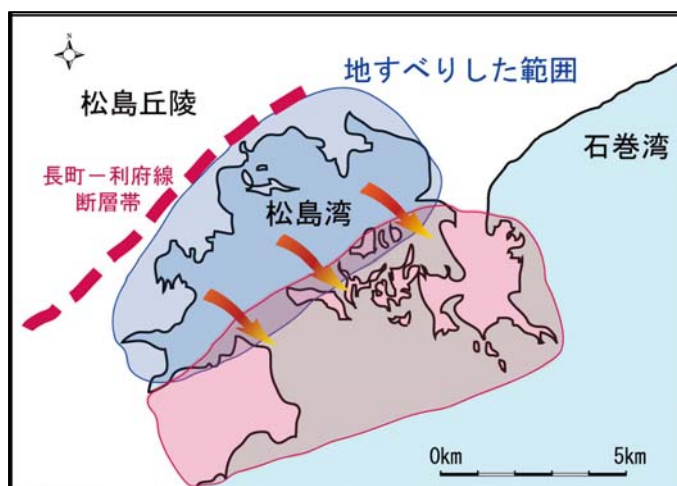


水口隆 助教

長谷川教授の新説が読売新聞で報道されました

安全システム建設工学科の長谷川修一教授らのグループが、日本三景の一つである宮城県の松島の誕生に関する新説を提唱し、その内容が平成 21 年 5 月 25 日付けの読売新聞オンライン版（YOMIURI ONLINE）で報道されました。松島の地形はこれまで海面上昇による沈水地形と言われてきましたが、長谷川教授らは松島の複雑な地形が仙台平野から石巻平野の海岸線を分断することに着目し、松島湾が巨大地すべりの抜け跡で、その海側にある島々や半島は地すべりによる流山だと考えると、松島の地形と地質がうまく符合することに気がつきました。

長谷川教授の説によると、推定およそ 6000 年前、松島丘陵の活断層で発生した直下型地震を原因として、国内最大級の巨大地すべりが発生し、松島丘陵の一角が 5 km ほど海側へ移動し、現在のような地形になったということです。（広報室）



林小学校の皆さんが見学に来られました

平成 21 年 6 月 5 日（金）、高松市立林小学校 2 年生の児童の皆さん 23 名が、工学部キャンパスを見学に来られました。この見学は、子どもたちに地域への愛着や働くことの価値を感じてもらうことを目的として林小学校で毎年行われているもので、見学先として工学部を選んでくださった 23 名の皆さんをお迎えしました。

この日はあいにく小雨の降るお天気でしたが、児童の皆さんは工学部まで元気に歩いて来られました。到着後、石塚正秀准教授が工学部キャンパスを案内し、大学の授業風景、石原研究室の窓ふきロボット、水理実験室などを見学されました。参加してくださった児童の皆さんは、先生方の話を一生懸命メモにとりながら興味深そうに聞いておられました。近い将来、工学部の学生として皆さんとまたお会いできるのを楽しみにしています。（広報室）



窓ふきロボットの見学



大講義室の見学

研究室紹介：知能機械システム工学科 鈴木研究室

当研究室では、髪の毛の太さ（約百マイクロメートル）より細い流路を複雑に組み合わせた小さな機械（マイクロマシン）の中でヒトの血液・細胞・染色体を操作することによって、従来にない、速く・細かく・安く分析する技術を創製し、安全・安心な社会の実現を目標とした研究を行っています。我々は、機械屋さんなので、まず“ものづくり”から研究がはじまりますが、バイオ分野への応用のために、医学・生物学分野の研究者・企業等と協力しながら、世界的にも独創的な小さな機械を作っています。これらの小さな機械は、パソコンのCPU等を作製する半導体製造技術を応用して作製しており、空気中のちょっとしたホコリが最良の機会－機械－を逃してしまうため、通常生活する部屋と比べて100倍以上の清浄度に保たれたクリーンルームを中心に研究しています。手のひらに収まる小さな機械が、たくさんの仲間を作り、新たなイノベーションの機会を生んでいます。

（知能機械システム工学科 鈴木孝明 准教授）



クリーンルーム内で微細加工を行う学生達

第1回オープンキャンパス（8月7日）予告

平成21年8月7日（金）、香川大学工学部の第1回オープンキャンパス（工学部入試説明会）を開催します。（受付開始は9時です。）詳細は工学部HPをご覧ください。（広報室）

トピックス

学術賞受賞等

2月28日 澤田秀之、IEEEアジア太平洋支部2008功労者賞 /3月2日 藤澤智(B4)堤成可(M1)西山明宏(M2)(指導教員 和田隆広)、学生安全技術デザインコンペディション優秀賞 /3月5日 荒川雅生(チーム責任者)、巽隆有(M1・チームリーダー)、(チームメンバー)大林亘(M1)中尾卓(M1)川ノ上 真進(M1)、社会人基礎力育成グランプリ2009決勝大会特別奨励賞(シンキング部門) /3月9日 竹村明洋(B1)(指導教員 国重和俊、上路林太郎)、(社)日本鉄鋼協会中国四国支部優秀学生賞 /3月20日 林純一郎、電気学会優秀論文発表賞 /3月24日 国立大学法人香川大学として受賞(研究代表者 能見公博)、2008四国産業技術大賞 /3月29日 大内亮太(M1)(指導教員 国重和俊、上路林太郎)、(社)日本鉄鋼協会努力賞 /3月29日 石井明、第1回日本スキー学会論文賞 /4月18日 鈴木孝明、船井情報科学奨励賞 /5月21日 土居俊一、第59回自動車技術会賞論文賞 /5月21日 澤田秀之、秦清治・林純一郎、The Best Paper Award (IEEE Human System Interaction Conference) /5月25日 石原秀則、(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門 部門貢献表彰

編集：工学部広報室 電話：087-864-2000 FAX: 087-864-2032
e-mail: info@eng.kagawa-u.ac.jp http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/